



協学課題「情報の裏」 第1週目

林 篤裕

(九州大学 基幹教育院
& アドミッションセンター)

e-mail: hayashi@artsci.kyushu-u.ac.jp



1

1. 協学課題 in 「裏を読む」

- (3) 情報の裏 (林 篤裕): 統計学、教育学、高等教育論
- ◆ 実社会で日頃何気なく接している情報について、我々はどの様に付き合えば良いかをいくつかの実例を通して考えていこうと思います。新聞、テレビ、雑誌、インターネット、SNS等々の様々なニュースソースから我々は多くの情報を得ることができるようになりましたが、これらを如何に読み解いて自分の行動・判断に活用していけば良いかを皆さんと共に議論したいと思います。また、後半では情報を発信する側についても考察できればと考えています。これらの過程において、論理的な思考を行う練習や他人に自分の意見を正しく伝える技術についても簡単に紹介できればと思っています。いろいろな視点から「情報」を一緒に考えてみませんか?

2

1. 協学課題 in 「裏を読む」

(3) 情報の裏 (林 篤裕): 統計学、教育学、高等教育論

● 進度・内容・行動目標

- ◆ 協学課題の中を〔情報に接する〕、〔情報を吟味する〕、〔情報を見極める〕、〔情報を発する〕、〔情報発信の実践〕、〔情報の裏〕の小課題に分け、週ごとに順に検討していくに従って考察を深めていく。我々は世間にあふれている情報とどのように接し、利用・判断して行けば良いかを実例を参考にしながら考えてもらい、今後社会に出た際の処世術の端緒としてもらうと思っている。これらの過程では個人での調査活動やグループ学習を行い、最後には班ごとに口頭発表を実践してもらう。
- ◆ 具体的な活動としては、.....

3

1. 協学課題 in 「裏を読む」

(3) 情報の裏 (林 篤裕): 統計学、教育学、高等教育論

● 進度・内容・行動目標

- ◆ 具体的な活動としては、第1～第2週ではテーマに沿った資料をニュースソースから収集してきてもらい意見交換をする。第3週では口頭発表に備えての説明資料を班ごとに作成してもらう。そして、最終週である第4週では班単位での口頭発表をしてもらうと共に、発表内容をレポートとして提出してもらう。
- 授業時間外学習
- ◆ 第1～第2週では、テーマに沿った資料をニュースソースから収集してきてもらう。第3週では、口頭発表に備えて説明資料を収集してきてもらう。また、第4週では口頭発表の準備と発表内容をまとめたレポートを作成してもらう。

4

2. 講義全体の流れ

- ◆ 第1週: 6月21日
 - ◆ 情報に接する
- ◆ 第2週: 6月28日
 - ◆ 情報を吟味する / 情報を見極める
- ◆ 第3週: 7月5日
 - ◆ 情報を発する(1) / (2): 班を固定
- ◆ 第4週: 7月12日
 - ◆ 情報発信の実践(1) / (2) / 情報の裏[まとめ]
- ◆ 授業時間外学習
 - ◆ テーマに沿った資料をニュースソースから収集してきてもらう。
また、口頭発表の前には説明資料を班ごとに作成してもらう。⁵

3'. 注意の補足

- ◆ グループ分け
 - ◆ クジで行います
 - ◆ 「同じメンバーと継続的に一緒のグループだった」
 - 偶然性だから、そういうことも有って良いのでは?
 - ◆ 毎週組み替える。
 - ◆ 班員の一人でも課題を未消化だと全体に影響する。各週各自から報告を求める予定。
- ◆ メモを取る習慣

3. 注意

- ◆ 休まない
 - ◆ 傾聴・フィードバックを重視している講義
- ◆ 宿題・担当はこなして次週に望む
 - ◆ 継続的な課題を作成するため
- ◆ 出席は取ります
- ◆ 主体的な参加を期待しています
 - ◆ 教員は話題提供者 / 恥ずかしくない
- ◆ 疑問点は林篤裕まで。どんなことでも結構。
 - ◆ hayashi@artsci.kyushu-u.ac.jp, kadai.ura@gmail.com
 - ◆ 内線 99-4489 (@箱崎) or 092-642-4489

4. 『情報』

- ◆ 「情報化社会」と言われるようになって久しい
- ◆ 何を得る? どこから得る? どの様に使う?
- ◆ それらの信頼性は?
====> ワークシート(個人ワーク)
- ◆ グループ分け(10グループ、4-5人)
- ◆ 自己紹介(軽く or 不要?)
- ◆ グループで意見交換(グループワーク)
- ◆ グループ代表者による発表
- ◆ 検討事項をメール報告(メンバー名も)
 - ◆ kadai.ura@gmail.com

身近な例をひとつ(1)

- ◆九州大学総長の入学式告辞
 - ◆平成28年度 学部入学式告辞(2016年4月7日)
 - ◆平成27年度 入学式告辞(2015年4月7日)
 - ◆<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/university/president/message/>
- ◆東京大学総長の式辞
 - ◆平成28年度学部入学式 総長式辞(平成28年4月12日)
 - ◆http://www.u-tokyo.ac.jp/gen01/b01_02_j.html
 - ◆五神総長は何を伝えたかったのか?
==> [ワークの時間\(個人 & グループ\)](#)

9

5. このような例は如何?

- ◆TVニュースから
- ◆TV1) 2012 Presidential Run
 - ◆Fox Chicago's shows fuzzy math GOP candidate support pie chart
 - <https://www.youtube.com/watch?v=-rbyhj8uTT8>
 - ◆Fox News Makes the Best Pie Chart. Ever.
 - <http://flowingdata.com/2009/11/26/fox-news-makes-the-best-pie-chart-ever/>
- ◆TV2) Unemployment Rate
 - ◆Fox News still makes awesome charts
 - <http://flowingdata.com/2011/12/12/fox-news-still-makes-awesome-charts/>

10

6. 一つテーマを固定して考えましょう

- ◆何にしましょうか。身近な例が良いでしょう。
- ◆「AO入試」について
 - ◆九大では7.6%(195名)がAO入試で入学
- ◆「AO入試」
 - ◆どのようなイメージを持っていますか?
 - ◆それはなぜでしょう?
 - ◆どうすれば**イメージが正しい**か確認できるでしょう?
 - ◆ご自身で【名乗る】必要はありません。

==> グループで意見交換(グループワーク)
- ◆捉え方が変わったでしょうか? 多角的な判断

11

AO入試: 国立大と私立大

- ◆AO入試って失敗?? <== 新聞等
- ◆九大の場合: 定員 195名(7.6%)
- ◆設置者に因って明らかに異なる
 - ◆割合 ==> 次ページ
 - ◆試験方法
 - ◆導入目的も?
- ◆国立大: 「学力不問」ではない
学力も**重要な「評価対象」**の一つ

(読売2010年
1月5日)
(産経2012年
2月24日)

12

日本のAO入試

- ◆ 国公立大学と私立大学とで全く異なると考えてよい
- ◆ アメリカのAO入試とも異なる
 - ◆ 主に事務員(Officer、not 教員)が関与
 - ◆ この中にもいくつかのタイプがあるのかもしれないが
- ◆ AO入試: 同じ名称だが、3つとも違ったものである
 - ◆ 「日本の国公立大学」のAO入試
 - ◆ 「日本の私立大学」のAO入試
 - ◆ 「アメリカ」のAO入試
- ◆ それぞれは区別して議論すべき: 国公立、私立、米
 - ◆ 区別しないと非生産的な議論にしかない
 - ◆ 「学科試験を課していないから……」はダメ
 - ◆ 「AO入学の学生は……」はダメ

そもそも入試は何のためにあるの? 13

7. 情報に接する(今週のまとめ)

- ◆ いろいろな場面で「情報」に接する
 - ◆ 何を、どこから、どう使う、その信頼性は?
- ◆ どの様に受け取って活用して行けば良いのか?
 - ◆ 「全く使わない」わけにはいかない
 - ◆ 「全く信用しない」わけにもいかない
 - ◆ ではどうすれば良いのか?
- ◆ 一つのテーマでもいろいろな視点
 - ◆ 隠れた情報
 - ◆ 新しい情報を得るとイメージが変化する
 - ◆ 現在持っているイメージって「何?」

14

8. 次回に向けて

- ◆ 【宿題】(残り時間も)
 - ◆ 不思議な「情報」を見つけてみましょう。
 - 新聞、TV、本・雑誌、掲示板、広告、Web、.....
 - ◆ 次週、事例を紹介し合ってもらいます。冒頭に報告。
 - 班員に見せ合うため、各自資料を持参のこと。
- ◆ グループ代表者
 - ◆ メールで話題・検討事項を報告してください
 - ◆ メンバーの氏名も
 - ◆ kadai.ura@gmail.com
- ◆ 次回: 6月28日
 - ◆ 情報を吟味する / 情報を見極める

15